

授業科目 経営組織論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	情報
佐藤 正		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要】					
社会の安定と発展のために、企業活動の安定と発展が不可欠である。企業活動の安定と発展は、個別企業の立場からみれば、環境変化に適応し、他企業との競争に打ち勝ち、自身の存続と発展を達成することである。このためには、企業の成長が不可欠であり、増大する多数のメンバーの活動の効率的な遂行と、統合を達成していかなければならない。経営者は、企業活動の目標を達成するために必要な諸活動(職務)を分業的に遂行する体制（組織構造）を形成し、メンバーを配置し、配置されたメンバーに割り当てられた職務が適切に遂行されるように、様々な配慮を行わなければならない。また、配置されたメンバーの相互作用の中から意図されない組織現象が生じてくる。 「経営組織論」は、組織構造の形成、配置されたメンバーへの様々な配慮、そこから派生する組織現象といった問題について考察する。					
【学習目標】					
企業活動における組織構造およびそこに配置された構成員によって生み出される組織現象について、次のような項目について基礎的な理解を習得する。 1）組織構造の形成 2）組織構成員への働きかけ 3）組織の諸特性 4）組織の変革					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	組織の誕生と運営				
2	組織の基本的累計：共同体と機能体				
3	企業という組織				
4	組織構造の形成				
5	組織構造の類型：基本型				
6	組織構造の類型：応用型				
7	組織構造の類型：いくつかの事例				
8	組織構成員の動機付け				
9	リーダーシップ				
10	パワー、コンフリクト				
11	組織文化				
12	組織学習				
13	組織的知識創造				
14	組織のライフサイクル				
15	戦略的組織変革				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		現代経営組織論（第2版）	森本三男	学文社	2001・3,465円
		組織論（有斐閣アルマ）	桑田耕太郎、田尾雅夫	有斐閣	1998・2,205円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席状況と期末テストを総合して評価する。			・配布したプリントによって授業を行うので、毎回出席すること。		
			・その時々時事問題についても解説するので、新聞（できれば日本経済新聞）の経済欄に常時目を通してきて欲しい。		
			・毎回、質問の機会を設け、出席調査票を質問票兼用とするので、不明の点は随時質問して欲しい。		